平成 20 年度活動記録
（平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

津太夫、左平顕彰部会
部会長　綿　　晋

１、パネル展　「鎖国の時代に世界一周した若宮丸の津太夫と左平」

日本人の海外渡航が禁止されていた江戸時代に、若宮丸の船員達は世にも貴重な体験をしました。彼らが見聞した世界の様子は、「環海異聞」に集大成され、ロシア学と世界情報の基本文献となりました。

彼らが見てきた世界の一端を２８枚のパネルで紹介しました。

・日　　時　平成２１年９月１２日（土）から平成２１年９月２７日（日）まで
１０時～１７時
・場　　所　亀井邸（塩竈神社裏坂）
・入場者数　　８４６人
・　同時開催　塩釜フォトフェステバル２００９
亀井邸会場　「アンセル・アダムス展」　８作品
・協　　力　　亀井邸文化交流事業スタッフ、塩釜フォトフェステバル
２００９実行委員会スタッフ
・　監　　修　平川　新　東北大学教授

２，講　演　会　「初めて世界一周した日本人　若宮丸の津太夫と左平」

演劇教育に取り組んでいる浦戸二小、浦戸中の児童生徒が若宮丸を題材にしたオリジナル演劇「海よりも風よりも」を公演することになり、講話とパネル展示を行った。

・日　　時　平成２１年９月１６日（水）　１０時３０分～１２時
・場　　所　塩釜市立浦戸中学校　講堂
・　参　加　者　浦戸二小、浦戸中学生、校長並びに指導教諭
・講　　師　ＮＰＯみなとしほがま・津太夫、左平顕彰部会
部会長　綿　　晋
・　公　演　日　演劇「海よりも風よりも」
平成２１年１０月２４日　塩釜市立浦戸中学校　講堂
平成２１年１０月３１日　塩釜市　遊ホール

３，研　修　会　「初めて世界一周した日本人　若宮丸の津太夫と左平」

ＮＰＯみなとしほがまボランティアガイド講座で「津太夫、左平顕彰部会」の活動と、「若宮丸の津太夫と左平」について講話を行った。

・日　　時　平成２１年２月２１日（土）　１４時～１５時
・場　　所　マックスバリュー塩釜店内マリンプラザ
・講　　師　津太夫、左平顕彰部会　部会長　綿　　晋
・参加者　　ボランティアガイド講座受講生及びＮＰＯみなとしほがま会員
・資　　料　「若宮丸の津太夫と左平」の小冊子等及びパネル２８枚

4，「環海異聞」デジタル図書贈呈式

宮城県有形文化財で宮城県図書館蔵の伊達文庫版「環海異聞」をカラーコピーし、塩釜市民図書館と宮城県図書館に贈呈した。

この図書により、県民、市民や子供達が美しい挿絵などが描かれている「環海異聞」全１６巻を直接手にとって見ることができるようになった。

・日　　時　平成２０年１１月２７日（木）
・場　　所　塩釜市民図書館　視聴覚室
・贈呈先　　塩釜市民図書館（佐藤　昭塩竈市長代理小倉教育長）
・感謝状　　平成２０年１２月１９日、ＮＰＯみなとしほがま総会前に佐藤　昭塩竈市長（代理小倉教育長）から三升理事長に感謝状が授与された。

5，小冊子の販売

一橋大学名誉教授　中村喜和講演会「環海異聞の魅力」の会場受付で「鎖国の時代に世界一周した若宮丸の津太夫と左平」の小冊子を販売した。

・日　　時　平成２１年2月１４日（土）１４時～１６時
・場　　所　エル・パーク仙台　スタジオホール　６階
・主　　催　石巻若宮丸漂流民の会

ボランティアガイドの会
部会長　鈴　木　　和　榮
報告者　高 橋 幸 三 郎

1.活動内容について

（1）鹽竈神社境内のボランティアガイドの活動

毎週土・日の 10：00～12：00 まで、参拝客を対象に、無料にて実施。
平成 20 年 10 月　4 日～12 月 20 日　23 の回
平成 21 年　3 月 22 日～　9 月 27 日　55 の回　　合計 78 回
、約 2,200 名の方をガイドしております。

会員による鹽竈神社境内のボランティアガイドの活動風景

（2）イベントへの参加

①「とうほく街道会議主催 第４回交流会 仙台・宮城大会」の中で、11 月 22 日（土）実施

された「街道探訪会」は、全国から60名が参加し、多賀城―塩竈―松島と、芭蕉の足跡を辿るコースを、「多賀城史跡案内サークル」「奥の細道松島街道」そして当会と三団体が連携してガイドを行いました。塩竈においては、ガイドだけでなく、くるくる広場において、「磯山灯り太鼓」でお迎えし、神社講堂にて市長挨拶のあと、まぐろ丼（塩竈みなとブランド～商工会議所より提供）塩竈汁を振舞い、塩竈の「おもてなし」を堪能していただきました。

② 身体障害者療養施設「杏友園」夏祭りに参加しました。（地域交流コーナーへの展示及びPR　　８月１日(土)14：30～17：00

③「塩・海　あらたな船出　しおがまルネッサンス」（塩釜商工会議所主催）への参加。
地域資源を活かした観光と特産品の開発のために、商工会議所が企画。浦戸諸島散策と「浦戸丼(アナゴ丼)」の試食、「美術計画」の鑑賞などを９月20日～10月４日まで計５回、一般参加者100名（1回20名）をガイドしました。
当会からは、１回４名ずつ20名がガイドとして参加しました。

浦戸をガイドする会員と浦戸丼

④ 「神々の月灯り」「鬼房展」「鎌田直衛展」その他、亀井邸でのイベントにガイド役として協力しました。

（3）その他のボランティアガイドの活動

① ５月９日に「宮城県文化財友の会」の方々140名を、当会員16名にて、
神社境内～亀井邸～裏坂～しるべの石～御釜神社～佐浦店頭～くるくる広場までガイドしました。これだけの多数を、広範囲にガイドするのは初めてでしたが、後日「友の会」会長様から、「多くの会員から高評を得た」との礼状もいただきました。

② 月見小及び玉小の先生より依頼があり、子供たちの疑問に答える形で神社境内や御釜神社などをガイドしました。

1. ６月25日(木)　9：30～11：30　月見ケ丘小６年生　36名
2. ７月３日（金）10：20～11：40　玉川小３年生　65名

後日、それぞれの学校の校長先生より礼状を、また、担当の先生を通して、子供たちの手書きのたくさんのメッセージをいただきました。実際のガイドを通し、子供たちへ伝えるこ

との大切さとその難しさを経験しました。

③ 「伊達なバス旅ツアー」、駅長の小さな旅「藻塩焼神事見学と神社参拝」「しおがまさま参拝と門前食べ歩き」その他塩竈市が係わった商店街を紹介しながらのガイドにも積極的に協力しました。

③ 大人の休日倶楽部（びゅう）、宮城うまいものと神社･松島（クラブツーリズム）その他バスツアーのガイド依頼があり、30 回以上のガイドを受けております。

（4）ボランティアガイド養成講座の実施

会員の研修及び新会員の発掘を兼ねて「ボランティアガイド養成講座」を、主にマリンプラザを会場に、下記の通り開講しました。39 名が受講し、会員を除く 16 名に「ボランティアガイド認定証」を授与し、そのうち、11 名が新会員となりました。

第１回　１月 24 日（土）「開講にあたって」鈴木和榮氏　「桜あれこれ」佐藤静夫氏
第２回　１月 31 日（土）「文学と塩竈」渡辺誠一郎氏
第３回　２月　７日（土）「亀井邸とその歴史について」三浦一泰氏
第４回　２月 14 日（土）「奥塩地名集にみる江戸時代の塩竈・ガイド心得」斎藤善之教授
第５回　２月 21 日（土）「浦戸諸島と津太夫・左平」綿晋氏　高橋幸三郎氏
第６回　２月 28 日（土）「鹽竈神社の由緒とガイドについて」近藤優禰宜
第７回　３月　７日（土）「北浜沢乙線沿線と塩竈市概要」阿部光浩氏
３月 28 日(土)　ボランティアガイド認定証授与式及び会員による神社境内のガイドの実施

⑸ 月例会の実施

主に毎月末の土曜日午後に、マリンプラザや協働推進室で、11 回実施しました。境内や、イント等への参加報告を行い、問題点があれば話し合い、また、今後の予定の確認等をしております。時に応じて、市や商工会議所の方にも参加いただいております。

（6）「宮城マスター検定」３級試験に当会より 23 名が受験し、全員が合格しました。

2. これからの活動について

平成 21 年度も「ボランティアガイド養成講座」を開講し、新会員の発掘に取り組んでいきます。神社境内のガイドは、毎週土・日の恒例となり、定着してきていると思いますが、現状では、午前中で精一杯なので、「養成講座」卒業生より、少しずつ会員を増やしていき、午後もガイドできればと考えています。

全体活動報告

事務局　大和田　庄治

１．港のミニ博物館企画展　「幕末最強の軍艦　開陽丸と塩竈」の実施

（１）開催時期：平成２１年３月２日から平成２１年３月２６日

内容　：　今から 140 年前、日本は近代的な中央集権国家の道を歩み始める、明治維新の動乱の時代であった。1868 年（慶応 4）1 月、鳥羽伏見の戦いに始まる戊辰戦争が起こり、徳川幕府海軍副総裁榎本武揚ら旧幕臣たちは、北の大地に蝦夷地共和国の建国を目指し、様々な思いを秘めて一隻の船「開陽丸」に夢を託した。開陽丸は、徳川幕府が海軍増強のため、オランダに建造を依頼。オランダでの愛称は〝Voorlihter〟(夜明け前)。進水式の新聞、雑誌の記事には、「民間の造船会社が最大の船を進水した。」と、大きな関心を集めた最強の軍艦であった。

1868 年（慶応 4）4 月、江戸城の無血開城により、新政府軍から開陽丸の引き渡し

を命じられた榎本は、旧幕府軍約 2,000 人と共に、開陽丸を旗艦として８隻の船に乗り込み、一路塩竈を目指し、江戸品川沖を脱出した。途中、銚子沖で暴風雨に遭い、大西洋を横断した咸臨丸など二隻の船を失いながら、８月末、塩竈の石浜に錨を降ろしました。このパネル展では、函館戦争に関わる絵図やフランス軍事顧問団として来日し、旧幕府軍に加わったジュール・ブリュネ砲兵大尉が残した塩竈や松島、岩手県宮古市等の当時の姿のスケッチ画、寄港地の浦戸地区の古写真。そして、開陽丸の古絵図や遺品などを展示し、開陽丸や榎本武揚、ジュール・ブリュネなどの歴史上の人物と塩竈の関わりの一端を紹介し、地元でもあまり知られていない戊辰戦争と塩竈の関りについて、子供たちの含めた多くの市民や市外の方々に情報発信するパネル展を開催した

（２）場所　　：みなとオアシスマリンゲート塩釜　　マリンプラザ　（宮城県塩竈市）

（３）参加者　:塩竈市民及び観光客　　延約３,５００人

２．図録　「幕末最強の軍艦　開陽丸と塩竈」の制作

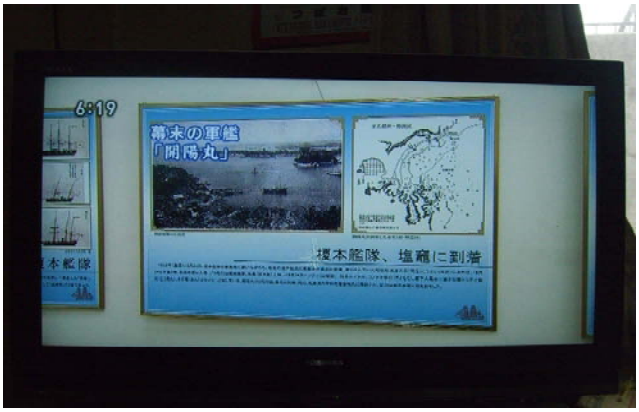
（１）制作時期：平成１９年５月１日から平成２０年３月３１日

（２）内容　　：パネルで紹介した内容を子供たちにもわかりやすくし解説した図録、「幕末最強の軍艦　開陽丸と塩竈」を制作し、子供たちや市民等に幕末最強の軍艦であった開陽丸や歴史上の人物と塩竈の関わりを広く紹介した。

（３）規格　　：B5版カラー・Ｐ２２・１，０００部

港の歴史ミニ博物館「幕末最強の軍艦　開陽丸と塩竈」写真

パネル展・開陽丸遺品設置状況



●「幕末最強の軍艦　開陽丸と塩竈」 お昼と夕方の NHK ニュースで放映